

頭を打った! さあ、どうしよう?

子どもは転びやすく、よく頭を打ちます。

頭を打ったあと、72時間(特に24時間)は子どもの行動をよく観察することが大切です。

打ったあと、すぐに泣きやみ、機嫌もよく、食欲があれば、しばらく様子を見てもよいことが多いです。

いつものように遊ばない、ぼっーとして元気がない、顔色が悪いなど、少しでも普段と違う様子があれば、かかりつけ医に相談しましょう。

次のような症状があれば、生命にかかわることがあります。

すぐに病院へいきましょう。

1. うとうとしているとき、呼びかけても反応がないとき
2. 何回も嘔吐するとき
3. けいれん(ひきつけ)が起こったとき
4. 眼や手、足の動きがおかしいとき
5. 頭痛が続くとき
6. 頭の骨がへこんでいるとき
7. 外傷後、耳や鼻から出血したり、透明な液体が出たりしたとき

まれに頭の中に少しずつ出血して、数週間後に症状が出ることもあり、注意が必要です。

子どもの頭部外傷で中等～重症となる例は年間3000～4000人あり、その20～30%が死亡し、たとえ生存しても多少なりとも後遺症を残しています。

頭のけがの予防法

1. おとなは子どもから目を離さない、手を離さない、心を離さない。
2. 車に乗せるときはチャイルドシートを正しく使用する。
3. ベビーカー、ベビーカーチェアに坐らせるときは短時間でも必ず固定ベルトをしめる。
4. ベッドに寝かせるときはたとえ寝返りをしない乳児であっても必ずベッド柵を上げておく。
5. 子どもを呼ぶときは、見えない所から呼ばない。
6. 階段には転落防止柵をつけて転落を防ぐ。